

食欲の秋「食」を題材にした本



「牧子、還暦過ぎて
チューボーに入る」
内館 牧子 / 著

臨死体験から10年、私は生きています。台所から命をもらって。大病を経験した著者が、「食は命」と改心し、おうちごはんを作るまでを綴る。料理研究家・鈴木登紀子との対談も収録。
著者の内館牧子氏は、1948年秋田県生まれ。武蔵野美術大学卒業。脚本家。ドラマの脚本を手がける。著書に「終わった人」「すぐ死ぬんだから」「大相撲の不思議」など。



「マチのお気楽料理教室」
秋川 滝美 / 著

ツアーコンダクターとして国内外を旅してきた万智は、義母の介護のため退職。旅先で料理を学んだ経験を生かし、義母の死去後、自宅で料理教室を営むことに。珍しい郷土料理を扱う教室には、老若男女の生徒たちが通ってきて…。
著者の秋川滝美氏は2012年よりオンラインにて作品公開開始。「いい加減な夜食」にて出版デビュー。ほかの著書に「幸福な百貨店」など。



「食堂メッシタ」
山口 恵以子 / 著

満希が営む目黒の小さなイタリアン「食堂メッシタ」。ライターの笙子は母親を亡くし落ち込んでいた時に、満希の料理に出会い元気を取り戻した。そんなある日、満希がお店を閉めると宣言し…。
著者の山口恵以子氏は1958年東京都生まれ。早稲田大学文学部卒。「邪剣始末」でデビュー。「月下上海」で第20回松本清張賞を受賞。他の著書に「あなたも眠れない」など。

11月の催しもの

とき	催しもの
毎週月曜日・午前11時～	あかちゃん絵本 よみきかせ会
毎週木曜日・午前10時～ 午後0時30分	あかちゃんクラブ ラッコルーム
2・9・16・23・30日(土)	「おはなし」と 「あそび」の広場
17日(日)・午前11時～	子ども★工作教室
3日(日)・午前11時～ 午後2時～	子どもビデオ劇場

展示会

- ◆『ふそうで行われた行事写真展』近藤泰樹氏 10月26日(土)～11月10日(日)
- ◆『フォト集団「コスモ」写真展』 11月17日(日)～11月30日(土)

その他の本

- ◆「やっぱり食べに行こう。」 原田 マハ / 著
- ◆「あったかけんちん汁」 坂井 希久子 / 著
- ◆「さよならの夜食カフェ」 古内 一絵 / 著
- ◆「ケーキ王子の名推理(スペシャリテ)1～3」 七月 隆文 / 著
- ◆「うちのレシピ」 瀧羽 麻子 / 著
- ◆「海苔と卵と朝めし」 向田 邦子 / 著

俳句 「初時雨」

ふそう俳句会

竹生島ひとときけぶる初時雨
菊日和明治の風を深呼吸
休み田の水の中なる草紅葉

萩野 青い歩
会田 宗和
大脇 勝博

川柳

扶桑川柳クラブ

無事感謝出番なかった備蓄水
警鐘を乱打地球の悲鳴聞く
ちびっ子の手に引き摺られ千歳飴

高野 瀬徳子
飯田 重樹
土屋 夢子

短歌

「里芋大葉」

ふそう短歌会

朝露のほろりほろほろまるびつつ
落ちそで落ちず里芋大葉

北村 久子

遠山に白雲浮かび秋風は
薄の原をそつと撫で行く

鳥居 治子

「鶉飼はね、鶉がかわいそう」と少年は
屋形船下りてポツリと言う

村雲 たみえ

詩吟

「中秋の月」

蘇軾

暮雲収まり尽くして清寒溢る
銀漢声無く玉般を転ず

此の生此の夜長えに好からず
明月明年何れの何れの処にか看ん

「意」暮れ方の秋の気配が清い。天の川も月もつくしい。
我が一生も中秋の良夜もつり変わる。されば明年は
どこでこの月を見るであろうか。

正風流二代目家元

山内 正風